

経営比較分析表（令和4年度決算）

沖縄県 金武町

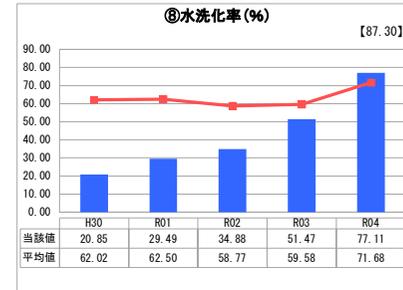
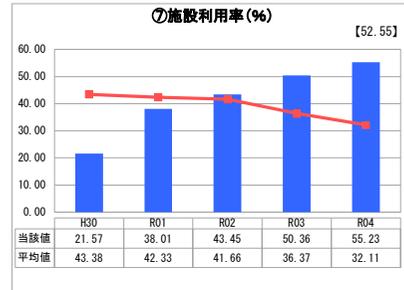
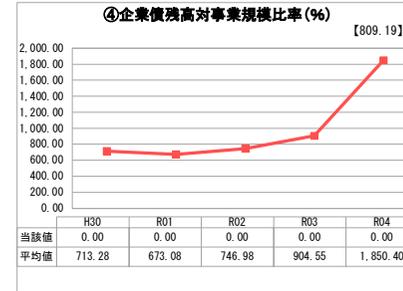
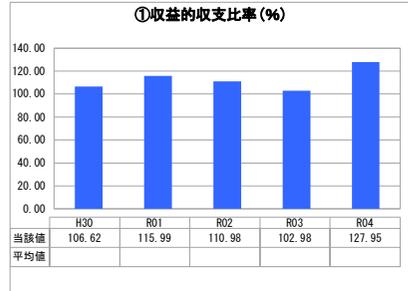
業務名	業種名	事業名	類似団体系分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F3	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家産料金(円)
-	該当数値なし	82.76	103.84	1,200

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
11,451	37.93	301.90
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
9,481	2.65	3,577.74

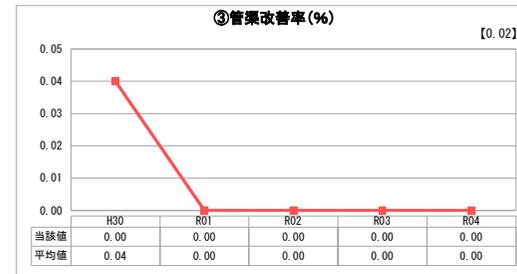
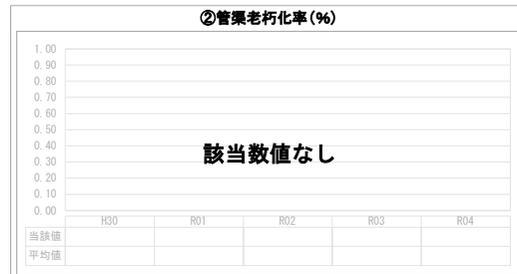
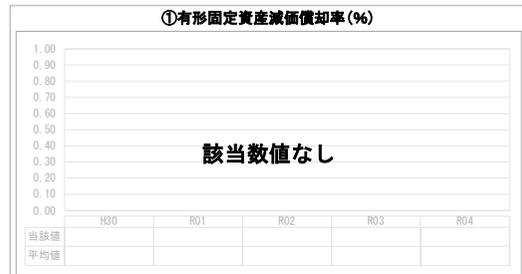
グラフ凡例

- 当該団体系分(当該値)
- 類似団体系分(平均値)
- 令和4年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①令和4年度は、屋嘉地区が供用開始後10年、並里・金武地区が供用開始後7年と経過していることから、管理費及び修繕費が増加しているとともに、地方公営企業法適用に向けた委託費が増額しており、依存財源87.20%(227,003,000円)、自主財源12.80%(33,320,100円)で費用(260,323,100円)を賄っています。

④企業債借入れはありません。

⑤経費回収率は、令和3年度と比較して下降しているが、類似団体平均値においても下降していることから、地方公営企業法適用に向けた費用の影響となります。

⑥汚水処理原価は、150.00円前後で推移していたが、管理費や修繕費の増加などにより182.19円と増加しています。

⑦施設利用率も下水道接続件数の増加に伴い若干の上昇傾向となります。

⑧水洗化率は上昇傾向ではあるが、まだ低く、下水道接続推進に取り組んでまいります。

2. 老朽化の状況について

金武町農業集落排水は、屋嘉地区が平成24年度に供用開始し、並里・金武地区が平成28年度に供用開始しております。管渠においては老朽化は見られませんが、中継ポンプ施設のポンプや機器類、処理施設内設備の修繕が年々増加している状況となります。

全体総括

平成28年度から供用開始した金武・並里地区の集落排水事業の接続率向上を図るため、住民周知や接続工事費の補助金を積極的に行ってまいります。

※ 法適用企業と類似団体系分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。